

ベビーカー利用に関する普及啓発について

1 公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会

- 近年、公共交通機関や公共施設等のバリアフリー化の進展に伴い、子供連れでの外出にベビーカーを利用しやすい環境となってきた。
- 一方、ベビーカー使用者と周囲との間で、ベビーカーに対するトラブルや意識の差も見られる。
- 国土交通省では、平成25年6月に「公共交通機関におけるベビーカー利用に関する協議会」を設置し、検討を進め、平成26年3月に検討結果を取りまとめ公表した。

2 取りまとめの概要

- ベビーカーに関する「安全な使用」と「ベビーカー利用への理解・配慮」の2つの課題に焦点を当て、「ベビーカー利用にあたってのお願い」及び「ベビーカーマーク」を策定した。

【取りまとめの概要】 資料4-2



(※駅構内のポスター掲示)

3 県としての今後の方向性について

お願い事項やベビーカーマークの周知について、県としても啓発活動を開始することが必要である。

【活動例】

- フェイスブックに記事掲載（実施済み。資料4-3）
- 県ホームページに掲載
- 啓発グッズ作成、イベント時等に配布 など

I ベビーカー利用の現状と課題

- ✓ バリアフリー化の進展に伴い子ども連れでの外出が増加してきた結果、公共交通機関等におけるベビーカー利用に関するトラブルや意識の差などが顕在化
 - ✓ 交通事業者等の取り組みやベビーカーマークも、統一的な取り扱いではなく、事業者独自のものが多い
- 「安全な使用」「ベビーカー利用への理解・配慮」の2つの課題に応え、ベビーカーを利用しやすい環境づくりを整備するため、「ベビーカー利用にあたってのお願い」及び「ベビーカー利用に配慮する統一的なマーク」について定めることが適当

II 「ベビーカー利用にあたってのお願い」と関係者の取り組み

「子どもの安全を守る」「子育てしやすい環境をつくる」ために、利用者及び関係者が自主的に取り組むことをお願い事項として整理

① ベビーカーの安全な使用 [チラシ等により周知]

- ベビーカー使用者に対し、子どもの安全を守るためにベビーカーの使用法で心がけてもらいたいことを整理(シートベルト着用、ストッパーによる固定、子どもを降ろしてのエスカレーター利用 等)
- ベビーカー販売時や駅、商業施設等で配布

② ベビーカー利用への理解・配慮 [ポスター等により周知]

- ベビーカー使用者及び周囲の方の双方に対し、快適に利用してもらうため、お互いに理解や配慮をしてもらいたいことを整理(周囲の方の気遣い・見守り・手助け、周囲に配慮した操作 等)
- 駅、バス、商業施設等に掲示

③ 関係者の取り組み

- 交通事業者・施設管理者等が、様々な利用者にとって移動しやすい環境を整備するために取り組むべき事項を整理(エレベーターを利用しやすい環境の整備、車椅子スペースの活用、事故防止のための取り組み 等)

III 統一的なベビーカーマークの作成

「お願い」に盛り込んだことを視覚的に明示するために、統一的なマークを選定

① 案内図記号

- ベビーカー使用者が安心して利用できる場所や設備を明示(エレベーター、鉄道やバスの車椅子スペース 等)

② 禁止図記号

- ベビーカーの使用を禁止する場所や設備を明示(エスカレーター 等)

IV 今後の普及・啓発

協議会構成員は、広く国民や利用者に対し、広報・周知活動を実施

- ポスターの掲示、チラシの配布、ベビーカーマークの掲出
- キャンペーン、イベントの実施 等

♥ベビーカーは大切な命を乗せています♥

ベビーカーの 安全な使用のために



鉄道利用時には

ベビーカーに
子どもを乗せる際には
シートベルトを
着用しましょう。

思わぬ動きでベビーカーから
子どもが転落することがあり
ます。



段差や隙間に
注意して
操作しましょう。



段差につまずいたり隙間や溝に車輪が挟まったりするこ
とがあります。

(ベビーカーは、折りたたまずに乗車することができます。)



エスカレーターや階段は
ベビーカーから
子どもを降ろして
利用しましょう。

急停止などによりバランスを崩し転落することがあります。
エレベーターを利用するか、周囲の方に協力をお願いしま
しょう。

駆け込み乗車は
やめましょう。



ドアに挟まれたり転倒したりすることがあります。

ホームや車内等で止めている間は、
向きに注意し、ストッパーをかけ、
しっかり手も添えているようにしましょう。



傾斜や走行中の反動で動き出すことがあります。
転倒や移動など、何か起こった際に気づかずに対応が遅れ
ることがありますので、ベビーカーから目を離さないよう
にしましょう。

「公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会」は子育てしやすい環境づくりを目指しています。

<協議会構成員> (NPO法人) せたがや子育てネット、(NPO法人) びーのびーの、子育て応援とうきょう会議、主婦連合会、ベビーカー安全協議会、北海道旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、(一社) 日本民営鉄道協会、(一社) 日本地下鉄協会、(公社) 日本バス協会、(一社) 日本旅客船協会、(一社) 全国空港ビル協会、(一社) 日本ホテル協会、(一社) 日本ショッピングセンター協会、日本百貨店協会、(一社) 日本ビルディング協会連合会、(公財) 交通エコロジー・モビリティ財団、経済産業省、国土交通省

— ベビーカーは大切な命を乗せています —

ちょっと気づかう、そっと見守る

ベビーカー利用者や周囲の方は、「子どもの安全」「子育てしやすい環境づくり」のため、お互いに配慮や理解をお願いします。



混雑時の乗降の際や乗車中などには、利用者どうし快適に利用できるよう、お互い声をかけ合いましょう!

周囲の方は

ベビーカー利用者には、
温かい気持ちを持って接し、
見守りましょう。

バスの乗降時など、
手助けを申し出てみましょう。

- ◎ベビーカーは、折りたたまずに乗車することができます。(※)
 - ◎座席にベビーカーを固定するため、協力をお願いします。
 - ◎乗降に少々時間がかかったり、スペースを少し広めに利用することがあります。
- ※走行環境によっては、折りたたみ、着席での乗車をお願いする場合があります。

ベビーカーを
ご使用の方へ

- ◎周囲の方との接触や通行の妨げなど、ベビーカーの操作には気をつけましょう。
- ◎困っているときは遠慮せず手助けをお願いしてみましょう。

「公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会」は子育てしやすい環境づくりを目指しています。

<協議会構成員> (NPO法人)せたがや子育てネット、(NPO法人)びーのびーの、子育て応援とうきょう会議、主婦連合会、ベビーカー安全協議会、北海道旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、(一社)日本民営鉄道協会、(一社)日本地下鉄協会、(公社)日本バス協会、(一社)日本旅客船協会、(一社)全国空港ビル協会、(一社)日本ホテル協会、(一社)日本ショッピングセンター協会、日本百貨店協会、(一社)日本ビルディング協会連合会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団、経済産業省、国土交通省



はーとふるどあ * 埼玉県福祉部

6月1日

☆このマークを見たら心配りを！No. 1

電車の優先席やデパートの多機能トイレなど、街中で見かけるマーク、何を意味しているのかな？と思ったことはありませんか？

今日は、このマークをご紹介します。これから、定期的に紹介していきますので、要チェックです！

「ベビーカーマーク」

ベビーカーが優先的に使える場所を示すマークで、今年3月に国土交通省が発表しました。今後、電車・バスの優先スペースや商業施設のエレベーターなどに掲示される予定です。このマークの付いた場所では、ベビーカーを畳まずに利用できますが、ベビーカーの利用者も周囲の人のためにマナーに気をつけることも必要ですよ。

周囲の方も、子育てを温かく見守ってくださいね。お互いの立場を思いやりながら、子育てに優しい社会にしていましよう！



いいね！・コメントする・シェア